

「減災月間」事業(全事業)

1 追悼行事(17事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	慰霊と復興のモニュメント震災を 忘れないブースの設置と銘板追 加式典	R7.12.15 R7.1.24-2.2	慰霊と復興のモ ニュメント	<「阪神淡路大震災1.17を忘れない」エリアの設置・運営> 阪神淡路大震災の鎮魂と復興を願って毎年開催されている神戸 ルミナリエの開催期間中に、主催団体である「神戸ルミナリエ組織 委員会」と協働で、メイン会場である東遊園地にある「慰霊と復興 のモニュメント」内にて、震災を知らない若い世代が中心となって 来場者の方々に震災の出来事を語り継ぐことのできる場所として 設置・運営 <銘板追加式典> 毎年、慰霊と復興のモニュメント内にある瞑想の空間に、震災で 亡くなられた方々のお名前をご遺族と一緒に銘板として追加する 銘板掲式典を実施	阪神淡路大震災1.17希 望の灯り	神戸
2	年末防災訓練地域交流と震災30 年1・17追悼の集い	R6.12.22 R7.1.17	日吉5丁目ポケット パーク	・黙祷～献花 ・炊き出し(豚汁・ぜんざい)	長田区日吉5丁目町内 会	神戸
3	第30回兵庫県南部地震(阪神・ 淡路大震災)犠牲者追悼のつど い あなたの思いを灯してください ～失った命の数をロウソクの 灯火に込めて～	R7.1.16 ～1.17	伊丹市昆陽池公園 南広場	①ろうそくによる追悼行事 ・震災翌年より毎年実施している追悼行事。追悼とともにいか に生きていくという開催テーマをもうけ、命の尊さ、減災への啓発、 継承のテーマに沿ったメッセージをロウソクで絵にする ②パネル展示 ・ボランティア活動等の展示	ボランティア団体ユー ・アイ・アソシエーション	阪神北
4	阪神淡路大震災1.17のつどい	R7.1.17	東遊園地	東遊園地に竹灯籠・紙灯籠を並べ、火を灯すことで阪神・淡路大 震災で亡くなられた方々の慰霊と鎮魂、そして震災から生まれた 「きずな・支えあう心」を次世代に語り継いでいく、「阪神淡路大震 災1.17のつどい」を毎年1月17日に市民主体の運営により開催 している。	阪神淡路大震災1.17 のつどい実行委員会	神戸
5	1.17KOBEに灯りをinながた	R7.1.17	鉄人広場	・「1.17ながた」LED紙灯籠敷設 ・防災の情報発信・ワークショップ・追悼ライブ(合唱、和太鼓)、募 金等 ・防災学習、ろうそく作り、灯籠作りワークショップ ・FMわいわいの放送	1.17KOBEに灯りをinな がた実行委員会	神戸
6	ひょうご安全の日のつどい	R7.1.17	兵庫県公館 HAT神戸ほか	震災の経験と教訓をいつまでも忘れることなく、安全・安心な社会 づくりに向けて歩む決意を引き続き発信 ①1.17のつどい(追悼式典) ②1.17ひょうごメモリアルウォーク2025 ③交流ひろば・交流ステージ ④防災訓練 ⑤地域のつどい	ひょうご安全の日推進 県民会議 (TEL:078-362-4423)	神戸
7	令和6年度神戸市震災追悼行事 (神戸市震災30年追悼の集い)	R7.1.17	東遊園地(神戸市 中央区)	阪神・淡路大震災から30年を迎える令和7年1月17日に、震災で 亡くなられた方々を追悼するとともに、震災で培われた「きずな・支 えあう心」「やさしさ・思いやり」の大切さを語り継いでいくため、神 戸市震災追悼行事を開催	神戸市行財政局 総務課 (TEL:078-322-5062)	神戸
8	追悼集会	R7.1.17前後	神戸市立学校園	追悼集会	神戸市立学校園	神戸
9	阪神・淡路大震災犠牲者追悼行 事	R7.1.17	①西宮震災記念碑 公園 ②西宮市六湛寺公 園及び市役所第二 庁舎1階	①(追悼行事) ・午前5時46分に黙祷(市長他出席予定) ・供花配布(5時46分～16時30分) ※花がなくなり次第終了 ②(追悼行事) ・供花配布(公園)(7時30分～16時30分) ※花がなくなり次第終了 ・パネル展示、動画放映、朗読パフォーマンス (第二庁舎1階) パネル展示、動画放映は1月14日～31日の平日 午前9時～午後5時。 朗読パフォーマンスは1月17日13時～13時45分頃 と15時～15時45分頃の2回を予定	西宮市秘書課 (TEL:0798-35-3437)	阪神南
10	1.17芦屋市祈りと誓い	R7.1.17	「阪神・淡路大震災 慰霊と復興のモ ニュメント」前 (芦屋市浜芦屋町 「芦屋公園」内)	阪神・淡路大震災から来年1月17日で30年の節目を迎えるにあ たり、犠牲者を追悼するため「1.17芦屋市祈りと誓い」を執り行い ます。 1 日 時 令和7年1月17日(金)<雨天決行> 午前7時～午後5時 2 場 所 「阪神・淡路大震災慰霊と復興のモニュメント」前 (芦屋市浜芦屋町「芦屋公園」内) 3 内 容 記帳受付及び献花 4 主 催 芦屋市	芦屋市 生活援護課 (TEL:0797-38-2042)	阪神南
11	阪神・淡路大震災芦屋市犠牲者 追悼式	R7.1.17	ルネサンスクラシッ クス芦屋ルナ・ホー ル	阪神・淡路大震災から来年1月17日で30年の節目を迎えるにあ たり、犠牲者の方々の御霊の安らかならんこととお祈り申し上げ るため、執り行います。 1 日 時 令和7年1月17日(金) 午後2時30分～おおよそ1時間の見込み 2 場 所 ルネサンスクラシックス芦屋ルナ・ホール (芦屋市業平町8番24号) 3 内 容 黙とう・式辞・県芦屋校生による合唱及び演奏・次世 代へのメッセージ・献花 4 主 催 芦屋市	芦屋市 秘書・広報課 (TEL:0797-38-2000) 生活援護課 (TEL:0797-38-2042)	阪神南

12	令和6年度阪神・淡路大震災宝塚市犠牲者慰霊事業(献花・記帳所の設置)	R7.1.17	ゆずり葉緑地「鎮魂之碑」及び「追悼の碑」前(宝塚市小林字西山)	阪神・淡路大震災犠牲者の御霊のやすらぎと遺族の幸せをお祈りするとともに、将来に大震災の教訓を伝え、安全で災害に強いまちづくりに尽くすことを誓う。遺族をはじめ宝塚市民、各種団体の方々に献花と記帳をいただく。	宝塚市 秘書課 (TEL:0797-77-2060)	阪神北
13	令和6年度阪神・淡路大震災宝塚市犠牲者慰霊式	R7.1.17	宝塚市立文化施設ソリオホール	阪神・淡路大震災の発生から30年となる令和7年1月17日に、宝塚市犠牲者119名の慰霊碑の前で、ご遺族、来賓が一堂に会し、犠牲者の御霊を慰め、併せて大震災の教訓を将来に伝え、安全で災害に強いまちづくりに尽くすことを誓い合う。	宝塚市 秘書課 (TEL:0797-77-2060)	阪神北
14	犠牲者を追悼し震災をおもい起こす事業	R7.1.17 R7.3.11	神戸・心絆事務所横、名取市震災メモリアル公園内	<ul style="list-style-type: none"> ・県内各地の竹林にて竹を切り出し、のこぎりで定めた長さに切り竹灯籠を作り、そこへ手作りの再生ローソクを浮かべて文字を作り追悼する。 ・1月17日には宮城県名取市の東日本大震災の遺族、被災者を迎えて近隣の方々と共に追悼し交流を行う。 	神戸・心絆	北播磨
15	防災意識高揚のつどい	R7.1.17	復興拠点ゾーンコミュニティ住宅前広場	<ul style="list-style-type: none"> ・淡路市と連携した災害を想定した避難訓練 ・淡路市によるハザードマップの説明会 ・ひょうご防災特別推進員による防災講義 ・鎮魂灯としてキャンドルを設置し、黙祷 ・鎮魂イベントとしてハンドベル、ラッパ、和太鼓演奏 ・停電を想定した自家発電での炊き出し訓練の実施 	郡家地域交流広場推進委員会	淡路
16	あの日を忘れない～中之町公園1.17希望の灯り～	R7.1.19	中之町公園、田中公会堂	<ul style="list-style-type: none"> ・希望の灯りのもとで、語り部による体験談、追悼のピアノ演奏 ・募集した地域住民の手で希望の灯り「土灯籠」を作成。 	あの日を忘れない～中之町公園1.17希望の灯り～実行委員会	神戸
17	第30回神戸ルミナリエ	R7.1.24～2.2	東遊園地、旧外国人居留地、メリケンパーク	阪神・淡路大震災の犠牲者への鎮魂と大震災の教訓を語り継いでいくとともに、まちのさらなる魅力発信と神戸地域への集客を目的に開催する。震災30年の「第30回神戸ルミナリエ」という節目の年を迎えるにあたり、より多くの方に神戸ルミナリエの意義を再認識いただけるよう、作品の拡充や地元事業者・団体との連携事業の強化等に取り組む。	神戸ルミナリエ組織委員会 連絡先:神戸ルミナリエ組織委員会事務局 (078-230-1001)	神戸

2 シンポジウム(14事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	災害メモリアルアクション KOBÉ2025	R7.1.11	人と防災未来センター東館1階こころのシアター	学生の防災・減災活動を支援し、災害教訓を「活かす」ことができる人材を育成するとともに、今後の被害を減らすことに寄与するため、防災の取組を様々な地域・世代へ広げていく事例をまとめ、その活動発表会を開催。加えて、この10年の活動の成果やこの先の10年を見据えた特別シンポジウム等を開催。	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター、 京都大学防災研究所 (TEL:078-262-5066)	神戸
2	100年先に残そう。阪神淡路大震災1.17絵本プロジェクト	R7.1.11、2.24	空地区会館	・阪神淡路大震災から30年目の節目に向け、神戸の子ども達が2年間かけ、阪神・淡路大震災を語り継ぐ絵本を作成。その絵本を制作をお披露目するシンポジウムを開催。会場には絵本の原画を展示。 ・「第8回気仙沼⇄神戸・復興会議」の開催 東日本大震災復興に携わってこられた方々と語らう。	アトリエ太陽の子・ボランティア部	神戸
3	防災・減災シンポジウム(2025) 「防災力向上を目指したまちづくりと防災技術」	R7.1.17	神戸市中央区文化センター	○基調講演: 講演テーマ 「阪神淡路大震災から30年 今後の災害に備えたまちづくりについて(仮)」 講師:野崎 隆一氏(近畿災害対策まちづくり支援機構 共同代表、一級建築士) ○話題提供: 講演テーマ「事前の備えと復旧、復興 大規模災害に向けて～南海トラフ地震、和歌山豪雨、能登半島地震、奥能登半島豪雨～(仮)」 講師: 上田 知史氏(海南市総務部主幹/(現在 能登町へ長期派遣中)) 講演テーマ「令和6年能登半島地震を踏まえた水道の地震対策における課題」 講師: 谷口 靖博氏 (アジア航測(株)、技術士)	公益社団法人日本技術士会近畿本部	神戸
4	阪神・淡路大震災復興30年シンポジウム	R7.1.17	ポートオアシス	<講演> 学識者2名からライフライン(上水道)における地震被害や地震発生時の対応などについて講演 有識者から近年の気候変動、豪雨災害などについて講演 <パネルディスカッション> 自然災害発生時の上下水道の連携をテーマにディスカッション	神戸市水道局 技術企画課 TEL 078-381-9587	神戸
5	阪神・淡路大震災30年事業	R7.1.17-1.18	北淡震災記念公園、国生み神楽みゅーじあむほか	鎮魂の歌: 藤岡まゆみ氏 学習発表: 兵庫県立淡路高等学校 基調講演: 神戸大学室崎益輝名誉教授 コーディネーター: 北淡震災記念公園 パネリスト: ① 稲むらの火の館、② 雲仙岳災害記念館、 ③ 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館、④ 中越メモリアル回廊、⑤ 熊本地震震災ミュージアムKIOKU、⑥ 人と防災未来センター	阪神・淡路大震災30年事業実行委員会	淡路
6	2024年度災害と障害者のつどい 「阪神淡路大震災から30年！当時の記憶と教訓を継承しよう！～あの人の声がきこえますか？～」	R7.1.19	兵庫県学校厚生会館3階大会議室	1. 朗読 阪神淡路大震災当時の記憶「あの人の声が聞こえますか？」 2. シンポジウム「30年前の記憶と教訓を今後に活かしていこう」 コーディネーター 福祉防災コミュニティ協会 湯井 恵美子 氏	特定非営利活動法人 兵庫障害者センター	神戸
7	2024年度災害と障害者のつどい 「阪神淡路大震災から30年！当時の記憶と教訓を継承しよう！～あの人の声がきこえますか？～」	R7.1.19	あすてつぷKOBÉ	(講演) 「障害者の防災対策とまちづくり」 長野保健利用大学 特任教授 北村 弥生氏 (報告) 「県内41市町に対する自治体アンケートについて」 名古屋大学減災連携研究センター 特任准教授 木作 尚子氏 (困りごと対談) 「やる気・元気が出るみんなが助かるまちづくり」～ 障害者のわかりにくいニーズをみえる化するために～ コーディネーター 神戸大研究員 大西 一嘉氏	特定非営利活動法人 兵庫障害者センター	神戸
8	(公社)兵庫県建築士会 阪神・淡路大震災30年記念事業	R7.1.25	こうべまちづくり会館2階ホール	第1部 記念講演会 講演者 神戸大学名誉教授 室崎益輝氏 第2部 パネルディスカッション テーマ:震災復興はどのように行われたか貴重な体験談を情報共有しフロアの参加者を交えた意見交換をもとに、今後の災害に対処するための新たな知見を学び、「震災対応 新時代へ」の提言をまとめる。 コーディネーター: 渡邊一洋氏 (兵庫県建築士会災害対策委員長) パネラー: 宮城、石川、熊本、兵庫建築士会代表者4名+室崎益輝氏	公益社団法人兵庫建築士会	神戸
9	国際復興フォーラム2025 ～変化する世界におけるレジリエント(強靱)な復興の推進:阪神・淡路大震災から30年を振り返って～(案)	R7.1.28	神戸ポートピアホテル 借楽の間	国内外の災害復興に係る経験や実践を共有、議論し、「Build Back Better(より良い復興)」へと活かします。 【特徴】今年度は、阪神・淡路大震災から30年を迎えるにあたり、日本および海外の大規模な地震からの復興を経験したコミュニティの代表者が話し、復興から得た教訓を災害下にある世界中のコミュニティに共有します。また本フォーラムでの議論と提言は、2025年世界復興会議と防災グローバル・プラットフォームに反映します。	国際復興支援プラットフォーム(IRP)、内閣府、兵庫県、アジア防災センター(ADRC)、 国連防災機関(UNDRR) (連絡先: IRP事務局 TEL:078-262-6041)	神戸
10	国際防災・人道支援フォーラム2025 I	R7.1.28	神戸ポートピアホテル借楽の間(本館地下1階)	阪神・淡路大震災の経験と教訓を生かし、防災対策の充実強化を図るため、行政、防災機関関係者、学識者、マスコミ関係者及び広く一般住民を対象にフォーラムを実施。 テーマ:気候変動に立ち向かう災害対策 I ～気候変動リスクと持続可能な未来への対策～	国際防災・人道支援フォーラム実行委員会(人と防災未来センター事業部普及課内) (TEL:078-262-5066)	神戸

11	阪神淡路大震災30年特別企画 救急救命士 災害医療シンポジウム	R7.2.3	神戸商工会議所会館	<p>阪神・淡路大震災から時が経ち、東日本大震災、能登半島地震など多くの自然災害が発生する中、救急・救助に関わってきた救急救命士の過去の経験を、今後の災害医療活動や大規模マシギザリングイベントの医療体制構築などに活かすべく、シンポジウムを開催し全国の救急救命士に共有する場とする。</p> <p>実行委員長：菊池悠(神戸市消防局) 兵庫県救急救命研究会 メインセッション：シンポジウム 救急救命士の災害対応～阪神淡路大震災30年企画～</p>	救急救命士災害医療シンポジウム実行委員会	神戸
12	21世紀減災社会シンポジウム	R7.2.8	神戸朝日ホール	<p>[基調講演] 「大震災30年 ～震災を振り返り、これからの災害に立ち向かう」(仮) 講師：室崎 益輝 神戸大学名誉教授</p> <p>[被災地からの報告] 「能登半島地震から1年 ～現地からの報告」(仮) 報告者：上田 真由美 朝日新聞社金沢総局記者</p> <p>[パネルディスカッション] 「能登へ、南海トラフへ ～新たな世代が引き継ぐ教訓と課題」(仮) パネリスト： 阪本 真由美 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授 門脇 幸子 兵庫県教育委員会震災・学校支援チーム「EARTH」メンバー／西宮市立浜脇小学校栄養教諭 頼政 良太 被災地NGO協働センター代表／関西学院大学人間福祉学部助教 長沼 隆之 神戸新聞社論説委員室副委員長</p>	ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター 学術交流部 交流推進課 (TEL:078-262-5713)	神戸
13	三田で災害を考えるフォーラム	R7.2.9	三田市まちづくり協働センター多目的ホール	<p>① 阪神淡路大震災の記憶を共有する講演 ② 防災に関する講演 ③ 阪神淡路大震災の記録写真展示 ④ 災害、防災に関する展示、体験ブース</p>	三田太鼓	阪神北
14	神戸市震災30年市民フォーラム 「RE KOBE:震災を知らない私たちが未来へつなぐ」	R7.3.8	神戸朝日ホール	<p>公募により集まった震災後に生まれた10代・20代が企画し、若い世代の目線から、防災・減災に取り組む市民や団体の活動を紹介、震災の経験・教訓を未来へ継承していくとともに、災害への備えについて改めて学び考える市民フォーラムを開催</p>	神戸市危機管理室 (TEL 078-322-6232)	神戸

3 講演会(12事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	災害報道のあり方研究セミナー	・R6.12.9～ 12.10 ・R7.2(予定)	・人と防災未来センター東館6階会議室 ・神戸市内(予定)	震災30年を迎えるにあたり、マスコミ関係者を対象に、その後の自然災害の経験を踏まえつつ、どのように伝えるべきかのヒントを得るためのセミナー(3回程度)を開催	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター (TEL:078-262-5068)	神戸
2	第十九回競基弘賞授賞式及び記念講演会	R7.1.11	兵庫県立神戸生活創造センター	レスキューロボット表彰式と記念講演会 ・「競基弘賞」の授与式及び記念講演会 ※阪神・淡路大震災で亡くなった若き研究者(当時神戸大学大学院)にちなんで設立された賞 ・受賞者による最新研究開発の内容・活動報告等、実災害の現場でどのように役に立つのかを交えた講演 ・授賞式では研究員自らが、震災時の様子を語り継ぐなど、震災の記憶の継承する	特定非営利活動法人国際レスキューシステム研究機構	神戸
3	阪神・淡路大震災30年メモリアル集会	R7.1.17	長田区文化センター別館 ビフレホール	記念講演 テーマ「阪神・淡路大震災30年を振り返り、備え伝え繋ぐ」(仮) 講師 神戸大学名誉教授 室崎益輝氏 被災地報告 テーマ「能登半島地震と豪雨災害の現状と復興への課題について」(仮) 講師 石川県災害対策連絡会 長曾輝夫氏	阪神・淡路大震災救援・復興兵庫県民会議	神戸
4	神戸防災のつどい2025	R7.1.19	神戸市中央文化センター	第一部 基調講演 「災害時の女性の大切さ」(仮) 第二部 パネルディスカッション	NPO兵庫県防災士会(神戸防災のつどい実行委員会)	神戸
5	兵庫区歴史講演会	R7.1.19	県立兵庫津ミュージアム	「阪神・淡路大震災-30年をへて見えてきたこと-」をテーマとした2部構成での講演会 ・第一部「1月17日当日の取材映像を通して」 講師 井田和秀氏(サンテレビジョン制作部) ・第二部「震災が転機となった文化財保護」 講師 山下史郎氏(兵庫県企画部地域振興課)	神戸市兵庫区地域協働課 (TEL078-511-2111)	神戸
6	太子町防災講演会	R7.1.25	太子町あすかホール中ホール	来賓講師による防災に関する講演会 防災物品の展示	太子町役場総務部企画政策課 079-277-5998	西播磨
7	垂水区・震災30年事業たるみ防災フェア	R7.2.1	レバンテ垂水2番館垂水区文化センター	・たるみ賞表彰式 ・講演会:蓬萊大介氏(気象予報士・防災士)による講演 ・ワークショップ①(舞子高校・環境防災学科) ・ワークショップ②(神戸学院大学・防災女子) ・ワークショップ③(気象予報士協会) ・展示企画(舞子高校OB・語り継ぐ続編) ・区内中学校・高校によるコーラス演奏	神戸市垂水区地域協働課 (078-708-5151)	神戸
8	災害時多言語通訳ボランティア研修(在住外国人参加防災研修)	R7.2.1	JICA関西	主に兵庫県内在住の日本人、外国人を対象に、災害時外国人支援について学ぶための研修。有識者講演、避難所運営訓練などを実施予定。	共催:近畿地域国際化協会連絡協議会、(公財)兵庫県国際交流協会、(公財)神戸国際コミュニティセンター、JICA関西	神戸
9	防災リーダー研修会	R7.2.22	さよう文化情報センター	町民対象の防災講演会	佐用町企画防災課防災対策室 (TEL:0790-82-0664)	西播磨
10	～震災の教訓を未来に繋ぐ～ 第18回 防災を考える区民のつどい	R7.3.2	神戸市立灘区民ホール等	〈防災講演会〉 ・「生きるための人間力」防災士 月亭八光氏 〈防災講習会〉神戸学院大学 防災女子 〈防災表彰〉「灘防災の賞」表彰 〈防災合唱〉中学生による防災合唱 〈防災体験〉 ・起震車・災害疑似体験AR・展示等	神戸市灘防火安全協会 神戸市灘消防署 (TEL:078-882-0119)	神戸
11	阪神・淡路大震災と多発する自然災害の検証作業と被災地間の交流事業	R7.3.20	神戸市立ふたば学舎	I.『検証 大震災30年と復興災害』(X)をまとめ、それを活用した研究・実践討論集会を開催する(2025年3月20日)。東日本大震災や熊本地震、2024年1月の能登半島地震そして相次ぐ自然災害の被災地から報告者を招く。オンライン参加を活用する。 II.『検証 大震災30年と復興災害を問う』(X)を国内外のメディア、政府や国会、研究機関、NGO・NPO等に配布する。	兵庫県震災復興研究センター	神戸
12	防災講演会	R7.1月～2月	生野メインホール	市民向けの防災講演会	朝来市防災安全課 (TEL:079-672-6112)	但馬

4 防災学習(12事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	キッズ防災検定	R6.11.1～ R7.3.31	兵庫県下の小学校	小学生対象の防災検定 ・阪神・淡路大震災の経験と教訓を活かし、日々の生活の中で、防災に対する意識を楽しみながら高めることが出来る防災検定を実施 ・県下の小学校に告知し、申し込み校に問題と解答を郵送、合格者には認定証を発行	特定非営利活動法人 検定協議会	神戸
2	氷上特別支援学校 防災プログラム	R7.1.15	兵庫県立特別支援学校	阪神・淡路大震災30年の防災教育特別プログラム 避難所生活体験、防災グッズ展示、煙体験、キッチンカーでのライスボウル、ベーグルなど災害時の食事体験、VRによる災害体験、生徒による災害に関するスライド上映など 児童、生徒だけでなく、地域の参加も募り開催	兵庫県立特別支援学校	丹波
3	神戸500人委員会避難防災学習「伝える・活かす・備える」	R7.1.17	HAT神戸なぎさ公園	・東北・熊本震災当時の「こころ豊かな人づくり神戸500人委員会」の支援活動のパネル展示、各区の防災ガイドの手渡し ・備える防災ドリルを活用し、展示ドリルの解答及び解説を参加者と共に語り合う	こころ豊かな人づくり神戸500人委員会	神戸
4	「1.17 震災の日」と食育を関連付ける取り組み(防災給食)	R6.1.17	市内小・中・特別支援学校	・小学校、特別支援学校ではアルファ化米の使用した炊き出し献立の体験と、おにぎり作りを通じて、食の自立に向けた技術を身につける。 ・中学校は乾パンを提供するほか、常温で長期保存可能な乾物や缶詰を使用した献立を体験することで、自分の生命を守る食の在り方について考え、被災した方に心を寄せるための取り組みを行う。 ・給食日よりやひとくちメモで食育を関連付ける取り組みについての紹介。	宝塚市 学校給食課 (TEL:0797-77-2039)	阪神北
5	明石市職員防災研修会	R7.1.17	明石市役所本庁舎	「防災講話」 職員の防災意識向上を目的とした研修会 ※講師については、被災経験市民及び職員OBに依頼	明石市総合安全対策室(TEL078-918-5069)	東播磨
6	職員防災研修	R7.1.17	加古川市役所本庁舎等	消防庁の「防災意識向上プロジェクト」を活用し、研修会を実施する。	加古川市防災部防災対策課(TEL:079-427-9717)	東播磨
7	職員研修	R7.1.17 (予定)	姫路市役所	・職員の危機管理意識の向上や防災への関心・理解の促進に向けて、語り部を派遣いただき、体験談を通して職員の心構えを学ぶもの。	姫路市危機管理室	中播磨
8	日本DMAT隊員養成研修	R7.1.22～25 R7.2.26～3.1	兵庫県災害医療センターなど	兵庫県災害医療センターでは厚生労働省からの委託を受け、日本DMAT隊員養成研修を実施している。4日間の研修(シミュレーションや訓練を含む)の中で、災害医療の初動で重要なCSCAやDMATの役目、各職種役割、EMIS(Emergency Medical Information System)の使用方法などについて学ぶ。	兵庫県災害医療センター	神戸
9	令和6年度三木市自主防災組織育成研修会	R7.1.25	三木市文化会館小ホール	・自主防災組織を対象に防災講話「未定」	三木市 総合政策部危機管理課 (TEL:0794-82-2000)	東播磨
10	まちの保健室	R7.1.25	兵庫県看護協会	まちの保健室減災研修 テーマ「地域住民への減災対策の支援」 (阪神淡路大震災後から被災された方々の不安や悩みの相談を行い、まちの保健室として地域住民の健康に携わる支援を今日まで行ってきた。活動の一貫として地域住民の減災教育のため研修を行う。)	兵庫県看護協会	神戸
11	子ども防災体験学習	R7.1 (予定)	たつの市役所 災害対策本部会議室	小学3～6年生を対象に防災学習を実施予定。 ・防災マップ(冊子、3D)の紹介、説明 ・災害対策本部会議室、防災行政無線室の見学 ・防災グッズの作成(段ボールスリッパ) ・災害食試食	たつの市 危機管理課 (TEL:0791-64-3219)	西播磨
12	職員研修	R7.2.21	さよう文化情報センター	職員対象の防災講演会	佐用町企画防災課防災対策室(TEL:0790-82-0664)	西播磨

5 防災啓発(10事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	117KOBEBぼうさいマスタープロジェクト	R6.4.1-R7.3.31	神戸新聞社本社会議室	若い世代への防災・減災活動普及プロジェクト ・ぼうさい出前授業・ワークショップの実施 ・ぼうさいWEB検定の実施 ・117KOBEBぼうさいマスター育成のための市民救命士講習の実施 ・NPO、企業等との連携・協業による「ぼうさいワークショップ」の実施 ・避難所体験の実施 ・有識者、語り部による震災学習 ・ぼうさい国体への参加協力 ・被災地へのボランティア活動の実施	117KOBEBぼうさいマスター育成会議	神戸
2	1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」表彰式・発表会	R6.12.21	兵庫県公館	阪神・淡路大震災の経験と教訓を通して学んだ自然の脅威や生命の尊さ、共に生きることの大切さを考える「防災教育」を推進するため、児童・生徒・学生が学校や地域において主体的に取り組む先進的な防災活動を募集している。 令和5年度に応募のあった取り組みを対象に審査を行い、顕彰された学校・団体の表彰と発表会を実施する。	兵庫県・毎日新聞社・阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター (TEL:078-262-5068)	神戸
3	防災市民サミット2024&防災ガイドブックVOL.10	R7.1.1～R7.3.31	—	防災ガイドブック 学校、職場、地域で取り組める民間の防災教育、防災事業を紹介した印刷物の製作と頒布	特定非営利活動法人ユニバーサル・スポーツ振興協会	神戸
4	防災ウォーク備	R7.1.5	みなとのもり公園他	災害発生時に役立つ様々な歩き方体験、ガイド付きまち歩き等を組み合わせ合わせた体験型のウォーキングイベント	一般社団法人日本ウォーキング協会、ひょうご安全の日推進県会議、兵庫県、神戸市	神戸
5	1.17震災メモリアル行事「阪神・淡路大震災を忘れない～21世紀を担う私たちの使命～」兼ひょうごユース防災・減災ワークショップ	R7.1.15	兵庫県立舞子高等学校	本校生徒、中学生および地域住民が参加し、阪神・淡路大震災の犠牲者を追悼するとともに、阪神・淡路大震災を体験した様々な分野の方から当時のお話を聞き、災害の理解を深める。 全体会では阪神・淡路大震災を経験した方の講演や「震災30年を越えて伝えたいこと」をテーマとしたパネルディスカッションをおこなう。分科会では、ライフラインや救助活動についてのお話を聞く。その他に自衛隊と協力し、避難所での生活体験(テント・簡易トイレ・段ボールベット等)や炊き出しの試食などを体験し、災害時に何ができるか、その時に何が必要かを考えることができるようにする。	ひょうごユース防災・減災ワークショップ実行委員会	神戸
6	災害と食 災害時パッキング講習	R7.1.18	沼貫交流館 (丹波市氷上町佐野)	丹波市栄養士会の指導により、災害時の調理法であるバックッキングの講習会を研修会として実施。(参加者20組40名)	沼貫地区自治振興会	丹波
7	ながた防災のつどい ～ともに学ぶ災害への備え～	R7.1.25	ふたば学舎・二葉公園	①区総合防災訓練と併せて、②震災の経験を未来につなぐ小学生等による震災学習の発表会、③大学生によるワークショップや④癒しのコンサート、⑤震災直後から復興への歩みをつづる震災アーカイブ展を開催する。	長田区役所、長田消防署、特定非営利活動法人ふたば 他	神戸
8	イザ！美かえる大キャラバン！ 2025	R7.1.26	JICA関西、人と防災未来センター	HAT神戸に立地する関係機関が連携し、阪神・淡路大震災の教訓から生まれた「イザ！カエルキャラバン！」をベースに、防災教育に取り組む団体が集結し、家族連れや学生などが幅広く防災を楽しく学べる体験プログラムを提供する。	(共催) JICA関西/人と防災未来センター/兵庫県立美術館/兵庫県国際交流協会 (TEL:078-261-0386(JICA関西))	神戸
9	負けない 忘れない3.11 ―ここから生まれる未来 びっくり箱 Part.14	R7.3.9	宝塚市立文化施設ソリオホール	プロの舞台芸術創造団体による人形劇や演劇、コンサート、芸能等の舞台上演に加え、震災に関するシンポジウム、地元商店街・百貨店をエリアにした参加型街遊びなど地域と共に創るプログラムを実施	「みんな元気になるろう・びっくり箱」実行委員会	阪神北
10	阪神・淡路大震災から「30年目の手記」の募集と活用	R7.3.29他	KIITO(デザインクリエイティブセンター神戸)	・「30年目の手記」の募集と公開 ・トークイベントの開催	阪神大震災を記録しつづける会	神戸

6 防災展示(10事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	1995.1.17から30年。あらためて知る 阪神・淡路大震災 ～30年を振り返り未来を展望する30コラム展～	R6.11.1～ R7.3.30	人と防災未来センター 西館1階ロビー、西館2階防災未来ギャラリー ほか	阪神・淡路大震災30年特別展示として、30年前に起きた阪神・淡路大震災がどのような災害だったかを振り返るとともに、これまでの歩みや今後の展望などを30のテーマで展示する企画展を開催。	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター (TEL:078-262-5050)	神戸
2	広報展示室での防災・復興支援等に関する展示	R6.12.6-R 7.2.16	JICA関西	JICA関西広報展示室において、防災や復興支援等に関するパネルやバナーによる展示を実施する。	JICA関西 TEL:078-261-0341	神戸
3	1995.1.17から30年。あらためて知る 阪神・淡路大震災	R6.12.21～ R7.1.19	兵庫津ミュージアム	阪神・淡路大震災30年特別展示として、阪神・淡路大震災を写真やデータ、実物資料、映像等で振り返る出張展示を開催。創造的復興について改めて伝えるとともに、これからの災害に備えて、震災の経験と教訓を次世代に取り組みを紹介。	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター (TEL:078-262-5050)	神戸
4	「阪神・淡路大震災から30年 男女共同参画の視点で考える防災・減災・復興」ギャラリー展	R7.1.10-2.13	女性センター・トレピエ	男女共同参画の視点から見る防災・減災・復興の歩みと、推進について見える化するギャラリー展示を行う。	女性センター・トレピエ	阪神南
5	尼崎市立歴史博物館第13回企画展 尼崎・災害の歴史	R7.1.11-3.30	尼崎市立歴史博物館3階企画展示室	現在の尼崎市域に被害をもたらした地震や風水害、かんばつなどの自然災害の歴史と、市内に所在する自然災害伝承碑を紹介する企画展を開催する。	市教育委員会(歴史博物館)	阪神南
6	ひょうご安全の日のつどい (ブース展示)	R7.1.17	HAT神戸 なぎさ公園	・「平時からの備え」「過去の災害時看護活動」をパネル展示 ・災害支援ナースより、三角巾を使った止血法や固定法などの簡単な応急救護の方法について県民(中高生や来場者)へ指導、体験してもらう。	兵庫県看護協会	神戸
7	ひょうご安全の日のつどい (ブース展示)	R7.1.17	HAT神戸 なぎさ公園	・LPガスのパネル展示	(一社)兵庫県LPガス協会	神戸
8	ひょうご安全の日のつどい (ブース展示)	R7.1.17	HAT神戸 なぎさ公園	1月17日に実施されるひょうご安全の日の集いに、DMATカーや当センターで使用している資機材、パネルなどを出展・展示し、多くの方に兵庫県災害医療センターの役割や活動、災害医療について触れていただく。	兵庫県災害医療センター	神戸
9	「震災ダイアリー ～365日の記憶～」パネル展	R7.1.17～ R7.1.19	デュオドーム	2024年1月17日から朝刊社会面で連載している「震災ダイアリー」をパネル化した展覧会。25年1月16日までの365枚をカレンダー風に展示するほか、神戸市内各区の当時の写真も展示します。震災直後の悲惨な状況から、日々復興していく過程を振り返る内容になっています。	神戸新聞社 事業局 アート事業部 アート事業部長／養父(やぶ) 078-362-7086 ※平日 10:00～17:00	神戸
10	第15回全国学生防災書道展	R7.2.7-9	兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー	全国防災書道展の開催 ・防災救命や復興支援、自然災害に関わる文言や表現を題材にした書を各県教育委員会を通じて、全国から公募 ・優秀な防災書道作品約650点を選考し、展示 ・文部科学大臣賞、復興大臣賞、県知事賞など賞を設け、表彰式を行う	全国学生防災書道展 実行委員会	神戸

7 防災訓練(19事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	令和6年度兵庫県災害対策本部設置運営訓練	2024/12/23	兵庫県災害対策センター	南海トラフ地震が発生した場合の初動対応等に関して、「兵庫県応急対応行動シナリオ」の確認・検証を実施するとともに、災害対策本部員及び事務局職員等の対応能力の向上を図る。	兵庫県危機管理部 災害対策課 (TEL:078-362-9810)	神戸
2	消防出初式	R7.1.12	相生ペーロン海館前	・式典 ・感謝状授与 ・アトラクション	相生市危機管理課 0791-23-7132	西播磨
3	災害時職員対応訓練	R7.1.16	加古川市役所本庁舎等	大規模災害発生時における初動体制の確保や情報収集、連絡・報告体制の確立、本部員との迅速かつ正確な情報共有及び連携を図ることを目的に各種訓練を実施し、職員の災害対応力向上並びに防災意識の高揚を目指す。 ・メール配信による職員参集確認訓練 ・地区支部参集訓練 ・災害対策本部設置訓練 ・備蓄品の確認及び特設公衆電話接続確認	加古川市 防災部防災対策課 (TEL:079-427-9717)	東播磨
4	職員防災訓練	R7.1.17	稲美町役場	職員伝達訓練	稲美町 危機管理課 (TEL:079-492-9168)	東播磨
5	播磨西小学校防災訓練	R7.1.17	播磨町立播磨西小学校	・緊急地震速報を活用した行動訓練 ・避難訓練 ・救急救出訓練	播磨町 危機管理課 (TEL:079-435-0991)	東播磨
6	職員参集訓練 (及び初動要員訓練)	R7.1.17 (付近)	姫路市役所	・早朝の発災を想定して、公共交通機関を利用せず、職員の参集訓練を行う。 ・職員参集後、本部班初動要員の災害対策本部の立ち上げ等の訓練を行う。	姫路市危機管理室	中播磨
7	1.17情報伝達訓練	R7.1.17 (予定)	危機管理室執務室など	・防災行政無線、ひめじ防災ネット、姫路ケーブルテレビ、FMGenki、Twitter、Yahoo!防災速報による啓発文の発信 ・衛星電話・FAX、IP無線機、ホットライン電話等を用いた連絡訓練	姫路市危機管理室	中播磨
8	職員情報伝達訓練	R7.1.17	たつの市役所	災害時初動対応訓練として、応答・安否確認の情報伝達訓練を実施	たつの市 危機管理課 (TEL:0791-64-3219)	西播磨
9	状況付与型図上訓練	R7.1.24	高砂市役所	能登半島地震のような大規模地震時における災害対応能力向上のため、災害時に予想される事案や状況等を記述したシナリオを、時間軸に沿って進行管理者から訓練参加者に付与し、それに対し訓練参加者が行う意思決定や役割分担を回答する状況付与型図上訓練を実施する。	高砂市危機管理室 (TEL:079-443-9008)	東播磨
10	令和6年度 伊丹市総合防災訓練	R7.1.25	伊丹スポーツセンター	・報伝訓練・災害対策本部設置訓練 ・避難所開設・運営訓練 ・炊き出し訓練 ・救出・救助訓練 ・応急給水訓練 ・福祉避難所開設訓練 ・傷病者受入訓練 ・物資調達・搬送訓練 ・災害ボランティアセンター設置研修 ・啓発展示	伊丹市 危機管理室 (TEL:072-784-8166)	阪神北
11	令和6年度学校・自主防災組織 合同防災訓練	R7.1.25	加東市立滝野中学校	①シェイクアウト訓練 ②避難訓練 ③救出訓練・消火訓練ほか ④給水訓練、救援物資搬送訓練 ⑤体験型訓練(消火器体験ほか) ⑥避難所運営訓練(図上訓練) ⑦自衛隊による炊き出し訓練 ⑧防災学習(EARTH全体研修として実施)	加東市 総務財務部防災課 加東市立滝野中学校 (TEL:0795-43-0403)	北播磨
12	第71回「文化財防火デー」に伴う重要文化財防火訓練	R7.1.26	酒見寺 多宝塔 法華山一乗寺 三重塔	酒見寺多宝塔より出火延焼中との想定での放水訓練。 法華山一乗寺 三重塔から出火、山林へ延焼中との想定での放水訓練。	加西市 政策部防災課 (TEL:0790-42-8751)	北播磨
13	防災講演会	R7.2.2	相生市文化会館	気象庁による防災講話(仮)	相生市危機管理課 0791-23-7132	西播磨
14	神戸市国民保護共同訓練	R7.2.3	ポートアイランドなど	武装工作員による神戸空港の爆破やポートアイランドでの立てこもり事案を想定し、各関係機関と共に対応や住民避難に関する調整などの訓練を行う。	兵庫県危機管理部災害対策課 神戸市危機管理室	神戸

15	播磨町総合防災訓練	R7. 2. 16	播磨小学校、蓮池小学校、播磨南小学校、播磨西小学校	〈一般住民〉 避難訓練 〈自主防災組織〉 避難所設営・運営訓練 〈庁内職員〉 災害対応訓練	播磨町 危機管理課 (TEL: 079-435-0991)	東播磨
16	消防団・消防署合同林野火災訓練	R7. 2. 16	未定	林野火災を想定した防災訓練	相生市危機管理課 0791-23-7132	西播磨
17	職員情報伝達訓練	R7. 3. 11	たつの市役所	災害時初動対応訓練として、応答・安否確認の情報伝達訓練を実施	たつの市 危機管理課 (TEL: 0791-64-3219)	西播磨
18	第8回災害時想定訓練	R7. 3. 11	兵庫県薬剤師会館	業務継続計画(にもとづき、業務時間内に災害が発生したことを想定した被災訓練を実施し、発災直後の行動を確認するとともに、消耗資材を用い、各種機材を試用する。	一般社団法人兵庫県 薬剤師会	神戸
19	職員情報伝達訓練	未定	赤穂市役所	初動対応訓練として、全職員で情報伝達訓練を行い、迅速かつ正確な連絡体制の確立を図る。	赤穂市 市長公室危機管理担当 (TEL: 0791-43-6866)	西播磨

8 コンサート(10事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	震災の教訓を明日へつなごう!! 長田2025	R6.12.17 R7.1.17	神戸市立駒ヶ林中学校 学校体育館 ビブレホール他	【1/17コンサート】 ① 吹奏楽演奏・合唱(県立長田高等学校吹奏楽部・音楽部)② 被災地からの現状報告(岩手県大槌町 予定)③ 五木ひろしさん、佐渡裕さんによる「震災を語る」 ④ 五木ひろしミニコンサート⑤ 佐渡裕指導・指揮、長田区6中学及び長田高校による「アフリカンシンフォニー」の合同演奏及び「みんなで歌おう」⑥ 阪神・淡路大震災30年の誓い・感謝の言葉(中高生代表など) 【12/17シンポジウム】 ① 講演「歴史に学ぶ減災の知恵～地域の震災の記録から～」講師 県立兵庫津ミュージアム名誉館長 田辺真人氏② ピアノ演奏 神戸女学院大学非常勤講師 坂本恵子氏 ③ 鼎談と合唱「しあわせ運べるように」田辺真人氏、坂本恵子氏、臼井真氏(神戸親和大学准教授) 【震災を伝える巡回パネル展の実施】 神戸県民センター、長田区内各中学校等での巡回展示を行う。	阪神淡路大震災長田復興コンサート実行委員会	神戸
2	～震災の教訓とともに未来に繋ぐ～第17回宝塚チャリティ歌謡コンサート	R7.1.5	宝塚市立文化施設 ソリオホール	①マグニチュード7の地震発生を想定し、防災特別推進員を先頭に参加者全員による会場内から会場外への避難訓練を実施 ②～みんなで逃げよう発生時～ということで、避難口避難路を通過の避難訓練の実施 ③防災特別推進員がステージ上でコンサート前にスクリーン、パンフ等を使ってミニ講座を開催	花かわち倶楽部	阪神北
3	阪神淡路大震災から30年 メモリアルコンサート 次世代へ歌い継ぐ	R7.1.13	神戸市立東灘区文化センター(うはらホール)	オーケストラの演奏に合わせてその歌声を届け、兵庫県外からのお客様や、幅広い年代のお客様に聞いて頂く事で、震災の記憶を次世代へ繋ぐ	Lux in Kobe 実行委員会	神戸
4	第19回 竹下景子～詩の朗読と音楽のタペ～	R7.1.17	神戸文化ホール	阪神・淡路大震災発生後より、復興支援コンサート実行委員会として活動を開始。「竹下景子 詩の朗読と音楽」を兵庫県を中心に全国で開催。県民などから震災や復興に関連する詩を募集し、女優・竹下景子氏の詩の朗読と音楽で被災体験を語り継ぎ、震災を思い起こすきっかけとしてコンサートを実施する。 朗読:竹下景子氏 演奏:アン・サリー氏、ギター担当者、チキンガーリックステーキ	復興支援コンサート実行委員会	神戸
5	陸上自衛隊中部方面音楽隊 阪神・淡路大震災30年祈念演奏会 『忘れない』『伝える』『活かす』『備える』『繋ぐ』	R7.1.18	神戸文化ホール	上自衛隊中部方面音楽隊による、阪神・淡路大震災犠牲者の追悼の演奏と発災以来、災害派遣として出動した自衛隊による被災地住民の救助・救援・生活支援・復旧・復興支援活動の実情とその検証と総括と教訓を踏まえ、『忘れない』『伝える』『活かす』『備える』『繋ぐ』ことを目的として、小林弘樹陸上自衛隊中部方面總監の防災講演を受けて、予想される、南海トラフ巨大地震に備える「自助・互助・共助」の意識の向上につなげると共に、自衛隊兵庫地方協力本部の作成したDVDの阪神・淡路大震災の被災状況と救援活動及び、復旧・復興支援などの映像を舞台上に投影するとともに、ロビーでも写真展示を行い、阪神・淡路大震災を体験していない世代に追体験してもらい、被災体験を風化させることなく『繋ぐ』ことを目指す。	陸上自衛隊中部方面音楽隊後援会	神戸
6	震災30年祈念コンサート	R7.1.19	兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール	神戸市民からなる「神戸21世紀混声合唱団」と関西を代表するオーケストラ「アンサンブル神戸」による演奏でボルトガルの作曲家J.D.ボンテンボのレイクイェム他を演奏する。この演奏会には様々な災害に遭遇された方々を70名招待する。合唱団は2024年8月より毎週1回練習を行い、オーケストラメンバーには2か月前に楽譜を配り練習してもらう。公演2日前から全体練習を行う。 管弦楽 アンサンブル神戸 合唱 神戸21世紀混声合唱団 ソプラノ 老田 裕子 アルト 大賀 真理子 テノール 西影 星二 バリトン 高橋 純 指揮 矢野 正浩 当日ホールロビーにて神戸大学名誉教授、田結庄良昭氏による南海トラフ地震を想定した防災対策をレクチャーする。	アンサンブル・ピリカ	神戸
7	1.17鎮魂と語り継ぐために 第24回特別演奏会	R7.1.25	神戸新聞松方ホール	神戸市民からなる「神戸21世紀混声合唱団」と関西を代表するオーケストラ「アンサンブル神戸」による演奏でボルトガルの作曲家J.D.ボンテンボのレイクイェム他を演奏する。この演奏会には様々な災害に遭遇された方々を70名招待する。合唱団は2024年8月より毎週1回練習を行い、オーケストラメンバーには2か月前に楽譜を配り練習してもらう。公演2日前から全体練習を行う。 管弦楽 アンサンブル神戸 合唱 神戸21世紀混声合唱団 ソプラノ 老田 裕子 アルト 大賀 真理子 テノール 西影 星二 バリトン 高橋 純 指揮 矢野 正浩 当日ホールロビーにて神戸大学名誉教授、田結庄良昭氏による南海トラフ地震を想定した防災対策をレクチャーする。	公益社団法人アンサンブル神戸	神戸

8	PRAY FROM KOBE 2025 ~ 明日(あす)につなげるコンサート ~	R7.1.26 R7.3.8	神戸文化ホール大ホール 元町1番街商店街	<ul style="list-style-type: none"> ・部門毎(少年少女、中学・高校、女声、一般)及び東日本大震災の被災地から招聘した合唱団とともに、SPK (SingPray (Kobe)との合同演奏。最後に会場全員で被災地に向けて全体合唱を行います。 ・街頭コンサート 	兵庫県合唱連盟	神戸
9	第19回震災を忘れないメモリアルコンサート	R7.2.24	いたみホール 中ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・メモリアルコンサートの開催 ・阪神・淡路大震災を忘れず、メモリアルの思いを来場者と共有する。 ・出演団体・出演者と共に防災や助け合いの精神をつなぐためのイベントを実施。 ・ひょうご防災特別推進員による講話 	特定非営利活動法人ええうた工房	阪神北
10	第43回アルカディアイースターコンサート 追悼の祈りと希望のコンサート	R7.3.4	兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・追悼コンサートの開催 ・曲目「アヴェ・マリア」ほか ・主催者の挨拶の際、震災の教訓の呼びかけや追悼の言葉を述べる ・東日本大震災の県内被災者等を招待 	公益財団法人アルカディア音楽芸術財団	神戸